

令和 7 年 5 月

一般社団法人 全国公私病院連盟
会長
邊見公雄 先生

日本慢性期医療協会
会 長 橋本康子
第 33 回日本慢性期医療学会
学会長 西尾俊治
(公印省略)

『第 33 回日本慢性期医療学会』ご後援のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は一方ならぬご高配にあずかりまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当日本慢性期医療協会では、下記のとおり第 33 回日本慢性期医療学会を開催いたします。今年度は学会テーマを『慢性期医療の匠になろう！：坂の上をめざして』とし、よりよい慢性期医療を目指して研鑽を積んでいく所存でございます。

つきましては、本学会へのご後援を賜りたくお願い申し上げます。ご多忙のところ大変恐縮でございますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

【学会名】第 33 回日本慢性期医療学会

【テーマ】慢性期医療の匠になろう！：坂の上をめざして

【学会長】西尾俊治（南高井病院 院長）

【会 期】令和 7（2025）年 11 月 6・7 日（木・金）

【会 場】大阪国際会議場

【参加者】慢性期医療に携わる職員等 約 2,000 名

【主 催】一般社団法人日本慢性期医療協会（担当：平井）

東京都新宿区富久町 11-5 シャトレ市ヶ谷 2 階

TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122 E-mail jmcjimu@jamcf.jp

*恐れ入りますが、別添の返信書を 6 月 30 日（月）までにご返信いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上

第33回日本慢性期医療学会 ご後援返信書

＊お手数をおかけいたしますが、下記にご記入の上、ご返信をよろしくお願い申し上げます。

【返 信 先】FAX. 03-3355-3122 または jmcjimu@jamcf.jp（日本慢性期医療協会事務局）

【返信期日】令和7年6月30日（月）

貴団体名

よみがな

代表者氏名

役職名

ご連絡担当者氏名

部署名

ご連絡担当者メールアドレス

第33回日本慢性期医療学会 後援について

会期：令和7年11月6・7日（木・金） 会場：大阪国際会議場

承認する ・ 承認しない （どちらかに○）

ありがとうございました。

第33回日本慢性期医療学会 プログラム

【会 期】2025年11月6日(木)・7日(金)

【会 場】大阪国際会議場

【学会長】西尾俊治 南高井病院 院長

【テーマ】慢性期医療の匠になろう！：坂の上をめざして

◆第1日目 11月6日(木):5階 大ホール

| 時間 | 分 | 内容 | 講師・シンポジスト・座長 |
|----------------|-----|--|--|
| 9:30 10:10 | 40 | 開会式 | |
| 10:20 12:20 | 120 | <u>シンポジウム1</u> どうなる 新地域医療構想 | 〈座長〉 池端幸彦 日本慢性期医療協会 副会長 〈シンポジスト〉 森光敬子 厚生労働省医政局長 江澤和彦 日本医師会 常任理事 松田晋哉 産業医科大学 公衆衛生学 教授 |
| 13:40 14:40 | 60 | <u>特別講演1</u> 〈会長講演〉 さらなる慢性期医療を目指す匠の技とは | 〈座長〉 武久洋三 日本慢性期医療協会 名誉会長 〈演者〉 橋本康子 日本慢性期医療協会 会長 |
| 14:50 16:30 | 100 | <u>シンポジウム2</u> 栄養の匠をめざして | 〈座長〉 矢野 諭 日本慢性期医療協会 副会長 〈シンポジスト〉 若林秀隆 東京女子医科大学病院 リハビリテーション科教授 ・慢性期における新たな栄養指標 川上嘉明 東京有明医療大学 看護学部教授 ・「BMI と寿命」栄養をどこまで続けるか？ |
| 16:40 18:30 | 110 | <u>シンポジウム3</u> 医療介護連携・高齢者救急の匠をめざして | 〈座長〉 井川誠一郎 日本慢性期医療協会 副会長 〈シンポジスト〉 中尾一久 高良台リハビリテーション病院 理事長 ・高齢者救急を減らすための地域連携 平野正満 淡海ふれあい病院 院長 ・新しい指標「NEWS(national early warning score)」を用いた医療介護連携 小川咲子 ハート訪問看護ステーション 管理者 ・在宅介護施設における特定行為看護師の役割 |

◆第1日目 11月6日(木):12階 第2会場(特別会議室)

| 時間 | 分 | 内容 | 講師・シンポジスト・座長 |
|----------------|-----|--|--|
| 13:40 15:40 | 120 | <u>日本介護医療院協会</u> <u>セミナー</u> 2040 年に向けた新たな地域包括ケアシステムと介護医療院の役割 | 〈司会〉 猿原大和 日本介護医療院協会副会長 〈演者〉 鈴木龍太 日本介護医療院協会 会長 ・日本介護医療院協会 2025 年度調査結果報告 田中 滋 埼玉県立大学 理事長、慶應義塾大学 名誉教授 ・2040 年に向けた新たな地域包括ケアシステムと介護医療院の役割 |
| 15:50 17:50 | 120 | <u>第13回慢性期</u> <u>リハビリテーション学会</u> <u>シンポジウム</u> 在宅医療の時代がやってくる。在宅リハビリテーションのあり方 | 〈座長〉 橋本康子 慢性期リハビリテーション協会 会長 〈シンポジスト〉 柴口里則 日本介護支援専門員協会 会長 鈴木邦彦 志村大宮病院 理事長 栗生田友子 日本リハビリテーション看護学会 会長 |

◆第2日目 11月7日(金):5階 大ホール

| 時間 | 分 | 内容 | 講師・シンポジスト・座長 |
|----------------|-----|---|--|
| 9:00 11:00 | 120 | <u>シンポジウム4</u> 慢性期医療・介護 DX の 匠をめざして | 〈座長〉 富家隆樹 日本慢性期医療協会 常任理事・事務局長 〈シンポジスト〉 名嘉栄勝 西崎病院 理事長 ・生成 AI の医療現場での活用 石川賀代 HITO 病院 理事長 ・DX 導入による看護・介護業務の改善 谷 明紀 善光会サンタフェ 総合研究所 ・スマート介護士養成(ロボットを熟知した介護士の養成) |
| 11:10 12:20 | 70 | <u>特別講演2</u> 〈学会長講演〉 排尿ケアの匠をめざして | 〈演者〉 西尾俊治 第33回日本慢性期医療学会 学会長 ・排尿ケアは心のケア あなたの笑顔を見たい！ 久保亜紀 東近江健康福祉事務所（東近江保健所） 健康危機管理係長 ・滋賀県における排尿支援 ～病診連携・多職種連携・住民啓発の一体的実施～ |
| 13:40 15:20 | 100 | <u>シンポジウム5</u> 認知症ケアの匠をめざして | 〈座長〉 山口晴保 群馬大学 名誉教授 〈基調講演〉 田中志子 内田病院 理事長 ・身体拘束最小化大作戦、認知症における ACP 〈シンポジスト〉 阪口英夫 陵北病院 副院長 ・食事支援のこつ |
| 15:30 15:35 | 5 | <u>次期学会長挨拶</u> | |
| 15:40 16:30 | 50 | <u>閉会式</u> | |

◆第2日目 11月7日(金):12階 第2会場(特別会議室)

| 時間 | 分 | 内容 | 講師・シンポジスト・座長 |
|----------------|-----|--|---|
| 10:20 12:20 | 120 | <u>地域病病連携推進機構</u> <u>シンポジウム</u> 地域包括医療病棟の現状と 課題 | 〈座長〉 小山秀夫 社会医療研究所 所長 仲井培雄 地域包括ケア推進病棟協会 会長 〈基調講演〉 中田勝己 厚生労働省 医政局地域医療計画課長 〈シンポジスト〉 塚田信廣 東京都済生会向島病院 院長 横倉義典 ヨコクラ病院 院長 |

第33回 日本慢性期医療学会

(併催) 第13回 慢性期リハビリテーション学会

テーマ 慢性期医療の匠^{たくみ}になろう! : 坂の上をめざして



会期

2025年
11/6・7 木・金

会場

大阪国際会議場

学会長

西尾 俊治 (南高井病院 院長)

併催

日本介護医療院協会セミナー
地域病連携推進機構シンポジウム

主

催：一般社団法人日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

運営事務局：株式会社学会サービス

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101

TEL 03-3496-6950 FAX 03-3496-2150

E-mail : jamcf33@gakkai.co.jp

<https://www.gakkai.co.jp/jamcf33/index.html>

学会長挨拶

第33回日本慢性期医療学会は、2025年11月6日(木)・7日(金)に、大阪国際会議場において開催されます。第13回慢性期リハビリテーション学会も併催となります。本学会のテーマは「慢性期医療の匠(たくみ)になろう!坂の上をめざして」です。

「慢性期医療」という名称はかなり全国的に普及し、「慢性期医療」のあるべき姿も見えてきたと思います。「良質な慢性期医療」をめざして多くの課題に多職種が日夜取り組み、すべての方が「匠」をめざしているでしょう。「匠」とは「優れた技術を持った職人」をさす言葉であり、仕事に向きあう真摯な眼差し、そしてその手がけている仕事を良くしようという努力の道筋を連想させます。しかし、決してゴールではありません。

そこで本学会では慢性期医療における課題の中からテーマを選んですでに「匠」になっている方、上手く取り組んでいる「匠施設」、一方では取り組みに難渋している施設が討議をおこない、結果としてすべての方が「匠」への道に進めるような企画をしたいと思います。個々のテーマとして多くの課題の中から、シンポジウムのテーマとして「栄養の匠」「医療介護連携・高齢者救急の匠」「慢性期医療・介護DXの匠」「認知症ケアの匠」を取り上げました。また、特別講演1(会長講演)では

「さらなる慢性期医療を目指す匠の技とは」、特別講演2(学会長講演)では「排尿ケアの匠をめざして」と題して講演していただき、慢性期医療の匠の技について会場の皆様と共有したいと考えています。本学会では多職種による演題発表・シンポジウム発表をしていただきたいと思います。

どのテーマも簡単には「匠」にはなれないものばかりです。しかし、困難な課題であるからこそ、その「坂の上」を目指していききたいと思います。「坂の上の雲」の上はいつも晴れです! すべての職種の方が「慢性期医療の匠」になりましょう!

慢性期医療の現場で働き、同じ志を抱く多くの方々が大阪の地に参集されることを希望します。積極的な演題登録と会場参加登録をお願い申し上げます。

第33回日本慢性期医療学会
学会長 西尾 俊治
南高井病院 院長



演題募集カテゴリー

| 医 療 | ケア・マネジメント | 施設別 |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1 慢性期医療・治療 | 16 栄養マネジメント | 31 介護医療院 |
| 2 在宅医療・看護 | 17 口腔ケア | 32 介護施設 |
| 3 ターミナルケア・緩和ケア | 18 排泄ケア | コミュニケーション |
| 4 感染症 | 19 代替療法・レクレーション | 33 チーム医療 |
| 5 認知症 | 20 身体拘束廃止 | 34 患者・家族とのかかわり |
| 6 地域包括ケア | 21 褥瘡・スキンケア | 35 地域連携 |
| リハビリテーション | 22 医療安全・事故対策 | 36 スタッフ育成 |
| 7 回復期リハ | 23 IoT・ロボット | 経営管理 |
| 8 外来・通所リハ | 職種系 | 37 経営管理全般 |
| 9 訪問(在宅)リハ | 24 看護 | 38 業務改善 |
| 10 排泄リハ | 25 看護師特定行為 | その他 |
| 11 摂食・嚥下リハ | 26 介護 | 39 その他 |
| 12 理学療法 | 27 医療ソーシャルワーク | |
| 13 作業療法 | 28 薬剤 | |
| 14 言語聴覚療法 | 29 栄養管理 | |
| 15 リハ全般 | 30 臨床検査 | |

プログラム(予定)

| 第33回日本慢性期医療学会 | |
|---------------------------------|---------------------|
| シンポジウム1 | どうなる 新地域医療構想 |
| シンポジウム2 | 栄養の匠をめざして |
| シンポジウム3 | 医療介護連携・高齢者救急の匠をめざして |
| シンポジウム4 | 慢性期医療・介護DXの匠をめざして |
| シンポジウム5 | 認知症ケアの匠をめざして |
| 特別講演1(会長講演) | さらなる慢性期医療を目指す匠の技とは |
| 特別講演2(学会長講演) | 排尿ケアの匠をめざして |
| 第13回慢性期リハビリテーション学会 | |
| 在宅医療の時代がやってくる。在宅リハビリテーションのあり方 | |
| 日本介護医療院協会セミナー | |
| 2040年に向けた新たな地域包括ケアシステムと介護医療院の役割 | |
| 地域病連携推進機構シンポジウム | |
| 地域包括医療病棟の現状と課題 | |

演題募集期間

2025年
5月1日(木)～6月30日(月)正午

発表方法

一般演題発表は全てポスター発表

※演題発表日時は、学会長一任とさせていただきます。
※演題発表時間は、1演題6分を予定しております。

事前参加登録期間

2025年6月10日(火)～9月5日(金)

| 事前参加登録 (事前振込) | 参加登録費 | 14,000円 |
|------------------|-------|-----------|
| | 消費税 | 1,400円 |
| | 計 | 15,400円/名 |
| 当日参加登録 (当日現金) | 参加登録費 | 20,000円 |
| | 消費税 | 2,000円 |
| | 計 | 22,000円/名 |

第33回日本慢性期医療学会

主 催

一般社団法人日本慢性期医療協会
〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5
シャトレ市ヶ谷2階

運営事務局

株式会社学会サービス
〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101
TEL:03-3496-6950
E-mail:jamcf33@gakkai.co.jp

令和7年5月

一般社団法人 全国公私病院連盟
会長
邊見公雄 先生

日本慢性期医療協会
会 長 橋本康子
第33回日本慢性期医療学会
学会長 西尾俊治
(公 印 省 略)

『第33回日本慢性期医療学会』開会式ご来臨のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は一方ならぬご高配にあずかりまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当日本慢性期医療協会では、下記のとおり第33回日本慢性期医療学会を開催いたします。今年度は学会テーマを『慢性期医療の匠になろう！：坂の上をめざして』とし、よりよい慢性期医療を目指して研鑽を積んでいく所存でございます。

つきましては、本学会の開会式にご来臨を賜り、ご挨拶を頂戴できれば幸いに存じます。ご多忙のところ大変恐縮でございますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

- 【学会名】第33回日本慢性期医療学会
- 【テーマ】慢性期医療の匠になろう！：坂の上をめざして
- 【学会長】西尾俊治（南高井病院 院長）
- 【会 期】令和7（2025）年11月6・7日（木・金）
- 【会 場】大阪国際会議場
- 【参加者】慢性期医療に携わる職員等 約2,000名

開会式 ご来臨のお願い

*開会式にご来臨いただきますようお願い申し上げます。

日 時 令和7（2025）年11月6日（木）9：30～10：10

会 場 大阪国際会議場 5階大ホール

学会長招宴の開催について

*学会前日に学会長招宴を開催いたします。あわせてご出席いただければ幸いです。

日 時 令和7（2025）年11月5日（水）18：00～20：00

会 場 リーガロイヤルホテル大阪 山楽の間1（着席式）

【主 催】一般社団法人日本慢性期医療協会

東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階

TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122 E-mail jmcjimu@jamcf.jp（担当：平井）

*恐れ入りますが、別添の返信書を6月30日（月）までにご返信いただきますようお願い申し上げます。

以上

第33回日本慢性期医療学会 ご来賓返信書

*お手数をおかけいたしますが、下記にご記入の上、ご返信をよろしくお願い申し上げます。

【返 信 先】FAX. 03-3355-3122 または jmcjimu@jamcf.jp (日本慢性期医療協会事務局)

【返信期日】令和7年6月30日(月)

貴団体名 _____

よみがな

お名前 _____ 役職名 _____

ご連絡のできるメールアドレス _____

ご連絡担当者氏名 _____ 部署名 _____

ご連絡担当者メールアドレス _____

1. 開会式ご出席 (11月6日(木) 9:30~10:10 於: 大阪国際会議場)

ご出席 ・ ご欠席 (どちらかに○)



代理の方を開会式にご派遣いただける場合は、恐れ入りますが下記にご記入ください。

よみがな

お名前 _____ 役職名 _____

2. 学会長招宴会 (11月5日(水) 18:00~20:00 於: リーガロイヤルホテル大阪)

ご出席 ・ ご欠席 (どちらかに○)

3. リーガロイヤルホテル大阪でのご宿泊 *当協会にてご用意いたします。

必 要 ・ 不 要 (どちらかに○)



ご宿泊日 (11/5 ・ 11/6) ※全室禁煙

*交通費につきましては、誠に恐れ入りますが、ご負担いただきますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。